

## 2021 IEEE Communications Society Best Tutorial Paper Award受賞

2021年5月17日、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) Communications Societyより、2021年IEEE Communications Society Paper Awardが発表され、5G・IoTビジネス部のベンジャブール アナス (Anass Benjebbour) が、「5G: A Tutorial Overview of Standards, Trials, Challenges, Deployment, and Practice」(5G: 標準化全体像, トライアル, 課題, 展開, 実施に関する解説) により、IEEE Communications Society Best Tutorial Paper Awardを受賞しました。ドコモとして初の受賞となります。

IEEE Communications Society Best Tutorial Paper Awardは、IEEEの論文誌に過去5年間に掲載された論文の中で最も優れたTutorial Paper (解説論文) に対して与えられる賞です。

本受賞論文は、第5世代移動通信システム (5G) の標準化が収束し始めた2017年のタイミングで、世界各地の業界の有識者からこれまでの取組みを包括的に分かりやすくまとめた論文 (共著\*) であり、ドコモからはベンジャブール アナスが、3GPP (3rd

Generation Partnership Project) /ITU-R (International Telecommunication Union-Radio communication sector) などの標準化団体をリードし定めた5Gの要求条件、その要求条件を達成するための要素技術と、ドコモが世界各ベンダと実施した実証実験の内容と成果の解説をまとめました。

また本論文は、2017年6月にIEEE Journal on Selected Areas in Communications, Vol.35, No.6に掲載されてからわずか4年間で1,000回以上の引用があり、引用率が高く、移動通信分野の発展と5Gに対する世界技術者の理解促進に貢献したことが評価され、本受賞につながりました。

今後も、さまざまな場において、業界の各プレイヤーとの連携を推進するグローバル標準化リーダーとして、モバイル技術、産業発展に貢献していきます。

※共著者: Mansoor Shafi, Andreas F. Molisch, Peter J. Smith, Thomas Haustein, Peiyong Zhu, Prasan De Silva, Fredrik Tufvesson, Anass Benjebbour, Gerhard Wunder

本誌に掲載されている社名、製品およびソフトウェア、サービスなどの名称は、各社の商標または登録商標。

